

岡山県支部会報

発行／（社）中小企業診断協会

岡山県支部

2010年7月 第26号



「中小企業憲章」の制定に寄せて

支部長 額田 信一

＜はじめに＞

去る6月15日に、東京の紙パルプ会館で行われた中小企業診断協会の総会に参加させていただきました。総会では、ご来賓の長谷川中小企業庁長官が、祝辞のなかで、①中小企業憲章制定、②公益法人改革、の二点について触れておられました。



そこで、本稿では、長谷川長官が最初に触れられた「中小企業憲章」の制定についてご紹介させていただきます。

＜民主党のマニフェスト＞

平成19年に民主党が「重点政策50」を発表したときに、「中小企業憲章を制定します」という文言が入っていました。ここで、中小企業憲章とは、「現行の中小企業基本法と異なり、経済産業省・中小企業庁のみならず、（中略）政府全体を挙げて、経済政策の中心として中小企業対策に強力に取り組むための基本方針」と位置づけられていました。

＜憲章案の作成＞

政権が変わって、平成22年2月から、中小企業庁では「中小企業憲章に関する研究会」を設置し、中小企業憲章の内容を検討してきました。5月13日には憲章案が発表され、パブリックコメント、中小企業政策審議会等の意見を踏まえていくらかの変更が加えられ、6月18日に閣議決定されました。

＜中小企業憲章の内容＞

中小企業憲章は、インターネット検索で「中小企業憲章 閣議決定」と入力していただければ一番上に出てきます。直接アドレスを入力する場合は、次の通りです。
<http://www.chusho.meti.go.jp/kensho/2010/download/100618K.pdf>

＜中小企業基本法との違い＞

中小企業基本法は、第3条[基本理念]で「中小企業については、（中略）その多様で活力ある成長発展が図られなければならない」と述べ、第5条[基本方針]で、①経営革新・創業・創造的事業活動の促進、②経営基盤の強化、③経営安定・事業転換、④資金供給・自己資本の充実、の4項目が謳われています。従って、あくまでも産業政策の中の中小企業政策という位置づけになっています。

一方、中小企業憲章は、経済面のみならず、地域社会や住民生活への貢献、伝統技能や文化の継承、地域社会の安定など、より広い範囲で中小企業の存在価値を捉え、中小企業を、「経済を牽引する力であり、社会の主役」で、「国家の財産ともいえるべき存在」と定義しています。

＜おわりに＞

今まで、中小企業政策の基本は中小企業基本法でしたが、今後は中小企業憲章が政策の理念的指針になると思われます。会員の皆様にもぜひ一度、中小企業憲章をお読みいただき、中小企業の存在価値、中小企業診断士業務の社会的意義に思いを馳せていただければ幸いです。

支部通常総会開催

＜総会＞ 出席 42名 委任状 48名
 開催日時 平成22年5月22日（土）
 15:00～17:00
 場所 サンピーチ OKAYAMA
 岡山市北区駅前町 2-3-31

内容

1号議案(21年度事業報告及び決算報告)
 2号議案(22年度事業計画及び予算案)
 同議案に関し質疑応答ののち、全員拍手
 を以って原案通り承認された



診断士フォーラム

このフォーラムは、会員の皆様方にプロコンサルタント、企業内コンサルタントの研鑽の場、そして、人脈づくりの場として利用していただくためのものです。多くの方の参加をお待ちしております。

原則として月1回、第2日曜日に開催し、経営面のみならず、幅広い分野の講師をお願いして充実いたします。

日程	講師	テーマ
第1回フォーラム 4月11日	両備ホールディングス(株) 代表取締役社長 小嶋 光信 氏	私の企業経営
第2回フォーラム 6月13日	(株)後継者の軍師 代表取締役 神崎 充 氏 (会員)	後継者視点で斬る！後継者の立場 とブレインへの本当の期待
第3回フォーラム 7月11日	(株)FOREST JAPAN 代表 森 雄次郎 (外部講師)	カンボジアの贈りもの
第4回フォーラム 8月8日	(有)スタンバード 代表取締役 石原浩巳 氏 (外部講師)	ソーシャルメディア時代の Twitter 活用法
第5回フォーラム 9月12日	未定 (外部講師)	未定
第6回フォーラム 11月14日	(有)三蔵農林 未定 (外部講師)	未定
第7回フォーラム 12月12日	ゆめおい研究所(株) 代表取締役 太田文男 氏 (会員)	地域資源活用事業・農商工等連携事 業のエッセンス
第8回フォーラム 1月23日	未定 (外部講師)	未定 (新年会)
第9回フォーラム 2月13日	(株)企業競争力研究所 代表取締役 高杉康成 氏 (会員)	価値づくりの技術経営
第10回フォーラム 3月13日	竹原正孝 氏 (会員)	ワークライフバランス研究会活動 報告

支部研究会活動

地域活性化研究会

担当：小川 長

昨年度後半から半年間の休止期間を置いて、今年度当初から活動を再開しました。研究会とはいえ、私たちの活動は調査研究に留まらず、地域活性化に関するオピニオンを発信するアグレッシブなグループでありたいとメンバー一同考えています。

活動は月一回の定例会合でのディスカッションを基本に、先進的な地域や企業等の視察・調査によるインプット活動および、そこから得られた知見のアウトプット活動にも積極的に取り組んでいきます。

ISO研究会

担当：増田 泰三

ISO研究会の今年のテーマは「ISO9004:2009」です。

「ISO9004:2009」は「ISO9001:2008」の解説書のような規格で、日本の「JISQ9005:2005」と「JISQ9006:2005」がベースとなって改定されました。その為、規格要求事項の中に、「改善、革新及び学習」と言う要求事項があり、組織が継続的成功のために必要とする運用管理が具体的に書かれています。

今年は、みんなでこの規格要求事項の勉強を中心にして活動します。最終的には、ISO9001の認証取得をしている岡山県および鳥取県の中小企業を訪問して、ISO9001を経営に活用している事例を紹介する報告書を書く予定にしています。

福祉ビジネス研究会

担当：川路 隆志

福祉ビジネス研究会では、「福祉」と「ビジネス」という一見相反するキーワードから、診断士としての役割を見つけ、実行することを目的にゆるーく活動中です。

本年度でいったん解散しますが、今後も活動の中から新しいテーマを掲げ活動していきます。以下は、今年度の活動予定です。

1. 勉強会（定例会）の開催（今後の予定）

- ・7月20日（火）19時～21時 石原達也氏（ゆうあいセンター副所長）を講師に迎えての勉強会
- ・11月14日（日）視察（高評価注目株NPO団体）
- ・1月16日（日）視察（話題沸騰の介護施設）

2. 県の補助金等の審査委員活動

- ・7月9日（金）13時30分～ 同研究会の中から1名が参加。

3. 授産施設の工賃アップのための「セミナーや経営相談」の開催

- ・本年度は未定

4. パソナ様との業務提携推進（顧客の相互紹介）

- ・先方に2団体を紹介済。今後先方からコンサル等の依頼予定。

循環ビジネス研究会

担当：黒江 正行

平成15年6月に循ビ研がスタートして7年が経過しました。循環型社会が注目される中、産業の動脈・静脈両面に關心を持ち、先進企業などの視察を通じ自動車リサイクル法、建設リサイクル法などを取り上げレポートや報告書としてまとめてきました。

また、産廃業の診断事業にも真摯に取り組んできました。今後とも「現場を見る目、現場の生の声」を大切にします。

コミュニティビジネス研究会

担当：黒田 俊彦

本年度コミュニティビジネス研究会は、会員の方から活動課題を持ち寄り検討する会議を予定しております。

会議開催については、後日連絡いたします。

ワークライフバランス研究会

担当：木野内俊典

ワークライフバランス研究会では今年度のマスターセンター補助事業を担当することになりました。研究会は社会保険労務士の方々と共同で活動しています。

岡山県の「おかやま子育て応援宣言企業サポート事業」の実施に加えて、岡山県担当職員との意見交換や事例の共有を行なっています。今後はマスターセンター補助事業の具体化を進めてまいります。

知的探訪研究会

担当：中原富二雄

中小企業診断士の知識向上のための研究会発足

岡山県支部では、新しい勉強会として「知的探訪研究会（略称 探研会（たんけんかい）」を立ち上げ、第1回目打合会を6月13日実施、第1回見学会は6月30日三菱自動車見学会を開催しました。

なお研究会への追加参加希望者は随時募集していますので、参加希望者はご連絡下さい。

海外ビジネス研究会

担当：児玉 健治

診断協会岡山県支部の今年の海外視察は、9月23日から26日までの日程で、中国の上海に行くことになりました。上海の最大の魅力は、その市場規模です。人口の多さと消費者の購買力の高さは大陸随一で、単に富裕層が多いだけではなく、それに続く中間層も非常に分厚くなっています。

これに加えて、上海の消費者の情報感度の高さ、新しいものに対する受容力、さらに「上海は中国市場のショーウィンドウ」と言われるほどの発信力があるのも魅力です。岡山県の中小企業の新たな市場として、また商品・材料の仕入・調達先として、両方魅力を持った所であると言えます。「今」の上海を体感してきたいと思います。

新入会員自己紹介**渡辺昌平**

新しく入会しました渡辺昌平と申します。岡山県支部の諸先輩方よろしくお願い致します。倉敷市出身の55歳、プロコン1年生です。

私は平成21年の1次試験に合格し、その後(財)日本生産性本部の診断士養成コースを修了し、この4月に念願の“中小企業診断士”になることができました。

数年前から一度しかない自分の人生このままで良いのかと思うようになり、思いきって昨年2月に、約30年間勤務しました富士ゼロックス岡山(株)を早期退職し、かねてからの憧れの職業である“中小企業診断士”への挑戦という方向に大きく舵を切りました。

私の原点は入社当初5年間続けた飛び込み訪問であり、「お客様が儲かるよう、誠意と熱意を持って、価値を提供する」というスタンスを大切にしたいと考えています。これからどうなるかやってみなきゃわかりませんが、とりあえず今はガムシャラに權を漕ぐだけです。

皆さまどうかよろしくお願い致します。

垣本 輪

4月より診断協会岡山県支部に入会させていただきました、垣本輪と申します。

図書館情報大学大学院図書館情報メディア研究科(現：筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)卒業し、SEとして東京の情報システム会社に5年間在籍。その後、転職し資産運用・投資事業、新規事業立ち上げを経験しました。

現在は、個人事業主となり診断士として活動を始めたばかりです。

最近では農業に興味を持ち、これまでの経験を農業にうまく活かし、農業の活性化に貢献したいと考えています。

諸先輩方、ご指導よろしくお願い申し上げます。

窪田 司

はじめまして、平成21年度の中小企業診断士試験に合格し、平成22年度より岡山県支部に登録しました窪田と申します。

勤務先はおかやま信用金庫です。勤務先では、戦略企画部で事業計画の立案や管理会計制度の運営などをおこなっています。

自分を成長させるために中小企業診断士を取得しました。

中小企業診断士になって一番よかったと思うことは、人脈が広がったことです。今後はこの出会いを大事にして自分を磨いていきたいと思っています。

目標は中小企業診断士として先輩諸氏から学ばせていただき、岡山の知名度を高めることができるような中小企業診断士になることが目標です。

微力ではございますが、岡山活性化のために協力したいと考えておりますので支部の皆様よろしくお願い致します。

國本英隆

平成20年度の中小企業診断士試験に合格し、実務補習を経て、平成21年10月の診断士登録と同時に、岡山県支部に登録しました國本英隆と申します。

住まいは倉敷で、勤務先の尾道まで電車で通っております。

現在は、融資渉外担当として、中小企業の問題解決に力を注いでおります。

微力ながら、地域社会に貢献できるよう、尽力いたしますので、支部の皆様、ご指導よろしくお願い致します。

小林邦明

はじめまして。平成21年度の診断士試験に合格し平成22年に岡山県支部に入会させていただきました。安田工業(株)で経理課に勤務しています。決算作業、月次損益、資金繰り銀行対応など行っています。

昨年の試験に合格して、今年実務補習を終了しました。中小企業診断士としては、まだなんの経験もありませんが、色々な会合や研究会に出来るだけ参加して様々な知識を身につけたいと思いますので支部の皆様御指導よろしくお願い致します。

松島敏恵

診断協会岡山県支部では数少ない女性診断士として、平成22年度から登録させていただきました 松島敏恵 と申します。診断士試験合格は21年度です。

勤務先は、株式会社トマト銀行で、女性支店長第1号として曹源寺支店を任されております。曹源寺支店は個人特化型店舗で事業性融資の取扱いは現在ありません。入社後、1度退職し、パートタイマーとして再入社しました。嘱託、一般社員を経て係長、支店長代理を経験し、今に至っております。現在では女性支店長も2名となり、組織内で女性社員の活性化にも努めております。

今後は診断士試験を通じて得た知識を活かして経験を積み、業務を通じて地元地域に貢献していきたいと思っております。

微力ですができる限り頑張りたいと思っておりますので、支部の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

上杉雅弘

平成21年度の中小企業診断士試験に合格し、平成22年度より岡山県支部に登録しました、上杉雅弘(47歳、男)と申します。勤務先は中国銀行で、システム部へ所属しております。

24年間、専門職としてシステム部門に携わってきました。専門職であるため、視野や知識が偏っているとの思いがあり、自分自身の視野拡大、また、職場内で新たな分野への道が開けることも期待して、中小企業診断士の資格を取得しました。

銀行員ではありますが、お客さまや外部の方との接触がほとんど無い部署ですので、これを機会に、先輩診断士の先生方をはじめ、多くの方々と交流させていただき、自身を高めるとともに、少しでも地域経済の発展に貢献できたらと思います。

よろしくようお願いいたします。

伊達和宏

はじめまして。平成20年度の診断士試験に合格し、この度岡山県支部に登録させて頂きました伊達和宏と申します。勤務先は中国銀行です。

思えば勤務先を選んだのも、診断士試験に挑戦したのも、「微力ながら経営者の方々のお役に立ちたい。その中で自分自身も成長できたら素晴らしい。」そんな思いからです。

無事、診断士登録が終わり、少しホッとしていたところですが、岡山県支部に登録させていただいたことを再出発点として、初心を思い出し、できることから少しずつでも実行していきたいと考えています。診断士試験の受験を通じ、この試験を最後までやりきれぬ人間は、本当に「高い志」と「忍耐強さ(努力家)」と「運」の持ち主だと感じています(自分は特に運が強いようですが・・)。そのような方々と仲間入りさせていただけることは大変光栄であり、今後は共に成長していけるような活動ができればと考えております。若輩者の私ですが、支部の皆さま、何卒宜しくお願い申し上げます。

枝 純一郎

はじめまして、お世話になります。岡山商工会議所の枝純一郎と申します。

平成21年度の中小企業診断士試験に合格し、平成22年度から特別会員として入会させていただきました。

現在は金融課に所属しており、マル経融資をはじめとする中小企業向け融資制度のご紹介や経営安定支援事業などを行っています。また、当所ホームページやツイッターの運営も担当しています。

趣味は旅行で、主な目的はご当地グルメ食べ歩きと温泉です。祭りや花火などのイベントも大好きです。

まだまだ勉強中ですが、一日も早く中小企業の皆様のお役に立てるように頑張りますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

横山 敦

はじめまして。平成19年度の中小企業診断試験に合格し、本年度より岡山県支部に登録しました横山と申します。

現在おかやま信用金庫に勤務しており、営業支援部ビジネスサポートグループにて、営業店支援、取引先企業への支援、ビジネスマッチング等の運営等を行っています。

中小企業診断士の資格取得を通じ、以前よりは企業に対し様々な角度から企業を見ることができるようにはなったと思いますが、まだまだ未熟なところが多いと思いますので、岡山県支部への登録をきっかけとして先輩諸氏から色々と学ばせていただきたいと思いますと思っております。

私自身生まれも育ちも岡山であり、勤務先も地域金融機関ですので、中小企業支援を通じて岡山の活性化に少しでも役に立ちたいと思っておりますので、皆様宜しくお願いいたします。

川口公平

この4月から岡山商工会議所に入所しました。
 会議所ではたくさんの先輩診断士の方と接する機会が多いので、是非これから診断士としてのスキルを学んで行きたいと思えます。
 また、これからは特に創業の支援をメインに頑張っていきたいです。

根ヶ山浩次

はじめまして。平成21年度の診断士試験に合格し、平成22年度より岡山県支部に登録しました根ヶ山浩次と申します。

現在、私は実家（鉄工所）の家業を手伝っています。以前は香川県高松市でFA機器、システム等を扱う販売会社に勤務し、香川県内を中心に営業を行っておりました。このときの営業経験や、様々な客先の工場等の現場を見ることができたことは大変良い経験ができたと思います。

その後、Uターンで家業を手伝うことになり、経営を意識するようになりました。そして、中小企業診断士という資格を知り勉強を始め、受験期間が長くなりましたが合格することができました。

今後は、家業の後継者が決定していることもあり、私は診断士として独立を考えています。そして、中小企業の皆様に少しでも貢献できる様になればと思っております。

支部の皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。



新会員の方々

会員投稿

大きく変貌した自動車開発～CAE とプロジェクト管理～

会員 藤原 敬明

1. バーチャル・リアリティの活用

乗用車の開発は、1995年頃から大きく変わってきた。ひとつは、(株)マツダが始めたデジタル・イノベーションである。トヨタ自動車でもV-Commとして同様な試みを行っている。IT技術を活用した三次元

CAD(Computer Aided Design)とその3次元データを活用して行なうCAE(Computer Aided Engineering)である。先進国の自動車会社では、同様の試みが行なわれている。ほとんどの人たちは、自動車開発は次のように考えられていると思う。



しかし、CAE技術の発達によって、この順番が大きく変わってしまった。クルマのコンセプト決定が行なわれた時点で、大まかなサイズが決められる。このサイズで設計が行なわれ、CAEによって設計の妥当性が検討される。その検討には、性能面はもとより、衝突安全性から、工場の組立検討、サービス向上の整備性の評価まで行なわれる。プラットフォームが新設されるクルマは、先行試作車が作られ、衝突実験等が行なわれる。モデル決定に影響を与えないアンダーボディは作り込まれる。

上物ボディは、デザイナーが1:1のクレモデルを作り、それが承認されて、モデルの決定となる。直ぐに、クレモデルから採寸が行なわれ、設計、CAEでの検討が始

まる。この時、最終モデルと先行開発車との違いに注目して、CEAを行なう。

CAEが進んでも、実物で確認する重要性は変わらない。ただ、先行開発車で実験を行なっているので、従来行なわれていた試作台数を減らすこともできるようになった。併せて、モデル決定後の設計と実験を効率良く行なうことができる。フロント・ローディングが行なわれている。フロント・ローディングとは、俗な言葉で、最初に苦労すれば、後で楽になるということである。フロント・ローディングによって、クルマの開発期間はモデル決定後12～10ヶ月できるようになっている。同時に、開発にかかる費用も全体として少なくなっている。

また、プラットフォームの共用という言

葉も多く聞かれるようになった。アンダーボディの骨格を共用して、セダン(トランク付き)、ハッチバック、SUVなどの多種のクルマを開発する。この時、プラットフォームのベースとなるクルマを開発する時に、派生するクルマの構造の検討を済ませてしまうことがある。カスタマイゼーションという言葉がある。類似した製品を作る時に、共通する部品と個々のクルマで特徴付ける部品を分けて、共通する部品を量産効果でコストを下げる手法である。そのためには、派生する全てのクルマの検討をして、共通する部品を抽出しなければならない。そのための工数は、非常に多いが、派生車を開発する時は、コストを下げて、スムーズに上市できるようになる。フロント・ローディングである。ただ、現状はフロント・ローディングに過大な工数が掛りすぎているように見受けられる。派生車の検討を重視すれば、個々のクルマの作り込みが甘くなるように見受けられる。その逆の現象もある。

話が逸れるが、自動車部品会社が集まればクルマの開発ができると、以前に話題になったことがある。衝突実験のシュミレーションひとつとっても、個々の部品では行なえず、全体で行なわなければ出来ないのがある。部品メーカーはその部品に詳しく、自動車メーカーは全体としてのクルマに詳しく、お互いに役割を分担している。

2. プロジェクト管理

もうひとつの大きな変化は、ISO9001 から派生したセクター規格によるソフトの影響である。自動車分野のセクター規格は、QS9001 等から始まって、ISO/TC16949 になっている。自動車会社が部品会社に対して、認証取得を促している。これにより、購買管理は大きく変わってきている。同時に、自動車会社の開発も大きな影響を受けている。

その中心は部品開発の APQP (製品品質計画) と、量産における部品保証の PPAP (量産品承認プロセス) が中心となっている。APQP は専門家チームによる計画的な開発を規定している。PPAP の表紙は、PSW (部品出荷保証書) となっている。品質管理は製品の検査で確保するのではなく、開発段階からどのようにして開発してきたかの過程 (プロセス) を明らかにすることで品質を保証する仕組みである。APQP の製品開発の仕組みが、クルマの開発にも影響を与えている。一般に言われているプロジェクト管理の手法がとられることになる。

APQP と PPAP の中心的手法は、FMEA (故障モードと影響解析) である。FMEA は設計 FMEA

と工程 FMEA の両方ある。製造の場合には、工程 FMEA が使われる。FMEA は部品が壊れる時、どのように破壊が進んでいくかを FTA (Fault Tree Analysis) で解明し、安全に回避できるようにする。それだけでなく、重要度、発生度、検出度等で重要度を決め、重要度によって対策を決めている。部品が故障した時だけでなく、合理的に予見可能なお客様の意図しない使用方法にも配慮しなければならない。PL 訴訟の例で、猫を電子レンジに入れたら爆発した例がよく取り上げられる。この例で問題になるのは、爆発した時にどのくらいの衝撃にドアが耐えられるかである。結果が予見可能で危険回避の可能性のある時には、注意を怠った義務違反とされる。これが今求められている品質管理である。

工程 FMEA は、機械設備中心の職場のみならず、人の作業中心の職場でも行なわれている。作業内容が難しい工程では、フルプルーフ (ボカヨケ) を設置し、間違いを起こさないようにする。それでも難しい作業の場合は、徹底した技能の訓練し、一定以上の力量を持つ人しか作業できないようにする。

量産が始まる時には、100%良品を生産できるようにするのが、現代の品質管理である。いかに優れた改善を行なっても、量産が始まって行なう改善は評価されない。

3. まとめ

中国では、一般的な技術を使った部品や製品は、日本製と遜色なく作る能力のある企業が増えている。日本企業がリードしているのは、開発技術だけとなっている。自動車の場合、その中心は IT 技術を活用した CAE と、プロジェクト管理手法である。

(株)スズキの鈴木修会長が、ある本の中かでこう書いている。発展途上で自動車工場を作る時は、最低 1 つはロボットを入れる。賃金が安くてロボット化は必要なくても、いずれはロボットを入れる時がくる。その時、自動化をイメージしやすいようにロボットを入れると書いていた。

中堅企業にとって、今は導入の必要はないと思われている CAE も、将来コストが下がり、導入するのが一般的になると想像される。CAE はノウハウの蓄積がなければ、使いこなすことができない。資金的な余裕があれば、CAE を導入して、人材開発を行なってもらいたいと思う。

CAE とは関係ない企業にでも、工程 FMEA など進めていってもらいたい。例えば、QC 活動の一部を、エンジニアリング部門のカンバンを上げて、FMEA をやってもらいたい。QC 活動は、モチベーション活動に徹すれば良いと思っています。

事務局だより

1. 平成22年度理論政策更新研修（座学）のご案内

日時：平成22年10月30日（土）13時～17時の予定（後、懇親会をまつのき亭にて）

場所：コンベンションセンター

＜必須科目①＞ 「新しい中小企業施策について」

中国経済産業局 中小企業課 課長 難波 貢司

＜必須科目②＞ 「中小企業のものづくり支援」

岡山県産業振興財団 技術支援部 参与 安東 茂

＜演習（事例研究）＞ 「中小企業の企業再生」

岡山県産業振興財団 統括責任者（中小企業診断士） 近藤 次夫

2. 平成22年度海外視察のご案内

行き先：中国・上海

日程：平成22年9月23日（木・祝日）～26日（日） 3泊4日

岡山県の中小企業の新たな市場として、また商品・材料の仕入・調達先として、両方魅力を持った所 であると言えます。

治安面でも万博開催中は世界一安全な場所と行っても過言ではなく、心配ありません。

今の上海ビジネスシーンを体感することで岡山県の中小企業のために現実的な海外展開を提案することができます。

岡山空港発着で上海まで2時間、時差は1時間、行きは午後1時出発。からだにもやさしい旅程となっています。

3. 平成22年度支部研修のご案内

日時：平成22年11月21日（日）9:30～15:00

場所：ゆうあいセンター

テーマ：これで聞き納め「先輩から後輩へ！熟練診断士の経験とノウハウを学ぶ」

<<経営革新支援センター情報>>

岡山商工会議所よりご案内

フル経営資金制度 無担保・無保証人・低利率

マル経融資制度（小規模事業者経営改善資金）は、経営改善を図ろうとする小規模事業者の方々をバックアップするため、岡山商工会議所の推薦により、無担保・無保証人・低利率で日本政策金融公庫から融資を受けられる公的融資制度です。

融資限度額 1,500万円	返済期間 運転資金 7年以内 設備資金 10年以内 <small>（運転資金は返済猶予1年、設備資金3年）</small>
担保・保証人 不要	利率 1.85% <small>（平成22年5月19日現在） ※利率は返済開始日より随時 この範囲で変動する （変動は有利です）</small>

さらに設備資金貸付については
当初2年間の利率が0.5%低減されます！

ご利用いただける方

1. 商工会議所地区内で1年以上事業を営んでおり、所得の申告をしている。
2. 商業・サービス業は従業員5人以下、製造業・その他は従業員20人以下である。
3. 原則として6か月前から商工会議所の経営指導を受けており、経営内容が明らかである。
4. 納付すべき税金をすべて完納している。（所得税・法人税・事業税・住民税等）

マル経融資のお申込みから融資・返済まで

①商工会議所へ申込 ▶ ②商工会議所が調査・推薦 ▶ ③日本政策金融公庫が審査・融資

※お申込み・お問い合わせ先
岡山商工会議所 中小企業部 課長 室積 謙
〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15 TEL.086-232-2266 FAX.086-232-5269
西大寺支所
〒704-8116 岡山市東区西大寺中3-6-15 TEL.086-942-0101 FAX.086-942-0103
URL: <http://www.okayama-ccl.or.jp/> Email: occl@okayama-ccl.or.jp

岡山県支部会報 第26号

平成22年7月15日 発行

社団法人中小企業診断協会
岡山県支部

〒700-0907
岡山市北区下石井2-1-10 7F
Tel 086-225-4552
Fax 086-225-4554

発行人 支部長 額田信一
編集人 専務理事 山田哲男

